

で、下に向かえば向かうほど、人間としてのやることなすことに自信と確信を持つようになってくる。というか、自分のしていることは世のために人のため、身近な生き物のためと堂々と胸を張って生きることができるようになるのだ。逆に予感とか、願望をつぶやいているうちはまだまだ低いといえよう。

ということは何か。

言葉というのは当然のようにいうと、もう自分だけのためによき言葉、正の方向に言葉を使わなくなるということだ。だって自分自身当然のように振舞っているから、環境も周りも当然のように振舞ってくるのだから。

ということで、言葉には使い方一つで罪にもなるし、劇薬にもなるし、しかも人生まで変えてしまう。

ちなみに

しかし、一つだけ疑問がある。

僕は今、お金を必要としている。

この言葉を出すと、お金のことが全く頭に入らなくなるのだ、なんというか、お金が川の流れとなっていてすでにそこに流し込んでいる。そういう感じなのだ。

ちなみにお金が必要なのは昔は生活費が大きかったけれど

最近では生活以外にも

・僕にとって人生の喜びをもたらす人たち、お世話になっている人たちにお金を渡して、それでその人の成功をお手伝いしてあげたい

この人数が5人以上いる。僕としては今すぐ彼らにお金を投資したい。なぜから彼らがより繁栄することをしているから。

世のために繁栄することをする人たちを僕は応援したい。お金を出してその費用に当ててもらいたい。そういう意味でお金がものすごく手に入れたくなったのだ。

もし貴方がこれを読んでいるなら、あなたも僕にスカイプなりメールなりでお伝えしていただき、その夢を僕に語ってほしい。あなたがその方向に向かっていけば向かうほど、僕はあなたに投資する。

ついている、ありがとう・・・

そういったらあるクライアントから電話がかかってきた。というか、こちらからスカイプでぴこっと押したらきた。この人の電話で僕はいつも勇気と元気が付けられる。

富を得るのも当然

ついている、ありがとうも当然

全てを当然と受け止めて生きていると、本当にそうなってしまうものだ。

それが現実に形になっている。

朝5時にかかってきた電話においても

「佐々さん、しゃべっているときの佐々さんが一番ついている状態ですね」といわれたものだ、僕として本当にしゃべる状態になっていくと、いろいろといいことにつながっていく。

午前11時41分

4月23日 午前10時6分

うれしい言葉を出すのは何でだろう、  
というか、昨日とんでもないことに気がついたのだ。

うれしい言葉を出す。

しかし、気持ちの上でマイナスを出している。

こういうときって結果的に言葉でいいことをいっても、マイナスを見ながらついている、ありがとうといっているから、マイナスのほうにどんどんむかっていくのでは？

考えたら僕は余計なことばかり考えるようになっている。  
もしあなたも気持ちの上でマイナスなのにいい言葉をつぶやいてもよくなるないときは言葉はありがとうをつぶやきながら、仕事をしないで遊んだほうがいい。なぜなら遊んでいると楽しくなるからそっちのほうがつきがまわってくるからだ。

人間、遊びも仕事も大切である。というのも、遊ぶことによってつきをもらい、そしてその楽しみを持って仕事をみるから、仕事をいかに楽しむかという考えが生まれてくる。それは仕事だけでなく、生きることにとっても同じだ。楽しく生きるには遊ぶのが一番である。もしあなたが追い詰められていても、遊ぶ。

そうすると遊び心が働いて、それがいつの間にか芸術となってしまうのだ。そう考えたことによって、ただよい言葉をつぶやいていればいいというものではない。

いい言葉をつぶやきつつ、ひたすら遊ぶこと。  
仕事を投げて遊ぶこと、仕事するなら遊んでから仕事すること。

これがとても大切だと昨日、悟った。

さてもう一つ、よくマインドで大切だといわれているのは

実はマインドというのは生活に現れるあなたの態度である。

正直、身近な人にいい態度をとれないで、お客様にいい態度をとる。そんな人は僕は観たことがない。

周りにもいい態度をとっているから、お客様にもいい態度をとっているのだ。要は自分の周りの環境を直すには、お客様との関係を見直すには親子関係や友人関係、職場関係といったもの全てを見直すことになる。そこで自分のほうからおれて、そして自分から人間らしく魅力溢れるように接することで、僕の場合は環境が変わった。

ちなみに僕はお人良しと周りからいわれているが（詐欺師が困っているところを見て、たとえ相手がお金を持っていても渡してしまう性格）

お人良しの僕は昔からあったと思っている。

しかし、これはあくまでも独りよがりだけれど、僕はお人良しといいながら、かなり親に迷惑をかけてきた。お人よしは裏返せばのびのびと生きる人、要はわがままし放題なのだ。

昔は時々親に喧嘩をうっていたけれど、今では全く出来なくなってしまった。時々親が否定的なことを言うと、僕は怒るけれど、それ以外は親の一言一声がとてもありがたい。本当にこういうのは千葉で一人暮らしして、いろいろな体験をしないとわからない。逆に底まで落ちる体験をしたからわかったというのものもあるけれど。

そうそう、お人良しの話。

僕はお人良しの性格はどうも直りそうにないというか、感謝の言葉を毎日出して、掃除をして部屋をきれいにし、環境をすっきりと整えると、どうもお人良しの割合がますます高くなっていくのがわかる。

最近野良猫が来たときに、一番美味しいところを渡す。本当は渡すことなんてしなくていいはずなのだが、なぜか鳴き声にやられてしまうところがある。というより、僕自身猫が来ないとき、あいつどうしたんだろう？ と寂しい気持ちになる。お互い寂しい気持ちで惹かれているのかもしれない。猫からすると、どうでもいいことだと思っているけれど。

後もう一つ、お金が最近気にならなくなった。というより数字が気にならなくなったといったほうが早いだろう。

僕は一応売り上げ目標を立てている。しかし、それが

本当に馬鹿らしくなってきたのだ、気にならなくなったというか。

その理由はとても単純で、数字を気にすると病気になるからだ。病気と言っても体の病気でなく、心の病気になる。例えば数字を気にする。底にたどり着かないと、焦る。この焦りが本来の自分を固めてしまっていることになる。本来の自分は数字なんてものは気にしないで、ただひたすらやりたいことをやって、それを人に広める。それは最初は周りの受け入れてくれる人だけだが、そのうち、口コミによってどんどんと輪が広がってくるものだ。

しかし、数字をみると、どうもお客様というのが生きている人間でなく、ゲームのこましか見えなくなってくる。コマが思い通りに動かないからストレスがたまり、そして心から病気が発生して、ついには体のほうに負担がかかる。

基本的に体の病気はいつものずれですよ～という教えなのだが、本人はそれに気がつかない。僕はどんなにお金が3円しかなかったときであっても、病気にはならなかった。逆に徹夜して安心したとき、急にかぜをひいて寝込んだ。このときほどこう思ったものだ

「父さん、母さん、生きていてごめんなさい・・・俺、本当にわがまま放蕩息子でごめんなさい」

本当にこう思ったものである。そして元気になったときの体がいかに尊いか。